

第21回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第21回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気感のDI値は（-26）となった。
- ・前回12月調査値（-15）と比べると-11となり、景気感は悪化した。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成27年3月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H26.12)	見通し (H27.1-3)	B 現況 (H27.3)	(B-A)		現況 (H26.3)
					前回現況 との対比	見通し (H26.4-6)	
総合	97	-15	-11	-26	-11	-10	9
農業	10	-30	-20	-10	20	-10	0
建設業	11	0	-28	0	0	-55	18
製造業	11	-55	0	-46	9	-18	-9
卸売・小売業	24	0	0	-34	-34	-13	21
観光業	10	-20	-50	-20	0	0	30
飲食業	10	-30	-30	-50	-20	-20	0
サービス業	21	-5	9	-19	-14	23	0

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い（悪くなる）」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。